

「四国港湾ビジョン（仮）」タイトル案について

	候補	コンセプト
メインタイトル	四国港湾ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> 関係者の認知度が高い。
	四国港湾ビジョン 3.0	<ul style="list-style-type: none"> 下記理由より「3」という数字を押し出す形とし、表現は「Society5.0」を参考とした。 <ul style="list-style-type: none"> 本ビジョンが、H13、H19年から続く3番目のビジョン。 四国における港湾の未来像として3つの柱を提示。
	四国港湾ビジョン 2040	<ul style="list-style-type: none"> 最終とりまとめ(案)p.2「はじめに」に示す目標年次を記載。
サブタイトル	～ピンチをチャンスに～	<ul style="list-style-type: none"> 現在の新型コロナウイルスの大流行というピンチを、3本柱の推進によりチャンスに変えていく。特に労働人口が減少に転じている四国においては、このような経済的な苦境にある時こそ将来に向けたビジョンが重要な鍵を握ると認識。 (※R2.5.19、第44回国家戦略特別区域諮問会議にて安倍総理がご発言)
	～「効・創・適」新しい港の様式～	<ul style="list-style-type: none"> 四国における港湾の未来像の内、今後特に推進すべき3本柱を各1文字で示し(①物流の効率化・②新たな価値の創造・③自然環境への適応)、「新しい生活様式」に繋げた。
	～四国における「課題解決型」港湾の実現～	<ul style="list-style-type: none"> 四国の港湾が、個々の地域・分野のみでは解決できない課題を解決する「課題解決型」港湾(最終とりまとめ(案)p.21に記載)となることが望まれるため、その思いをサブタイトルに掲げた。

(参考)過去タイトル

- ・H13 四国港湾・空港ビジョン～「自立する四国」の暮らしを海に開くみなと～
- ・H19 四国港湾・空港ビジョン～「強い四国」を目指して～